

# あくね 市議会だより



出生祝い商品券 第1子から10万円……………2  
 令和2年度予算 主な新規・拡充事業……………4  
 各議員が市政を問う（一般質問）……………15  
 広域行政組合、広域議会って何？……………20  
 クイズNo.3 議会だより……………24



左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると市議会のホームページにリンクします。

二次元コード

阿久根市議会



検索

## 春の番所丘公園

コロナ終息後のにぎわいを待つ  
夏までには新たな子ども用遊具もオープンする

令和2年5月15日発行 (No.206)



# 子育て 応援

当初予算

## 出生祝い商品券

## 第1子から10万円に



新たに設置された、めぐみこども園児童クラブ

新  
児  
童  
ク  
ラ  
ブ  
め  
ぐ  
み  
こ  
ど  
も  
園  
に

市情報公開

手数料安く

2年度当初予算

元年度補正予算

これまで、第1子3万、第2子5万、第3子以降10万円だった、出生祝い商品券支給を、第1子から10万円に引き上げます。また、めぐみこども園内に新たな児童クラブを設置、子育て世代を応援します。また市庁舎にエレベータや議場に車いす傍聴席を整備、旧国民宿舎を解体するなど、市の当初予算最高額の125億9000万円の令和2年度一般会計予算を可決しました。

また、国民健康保険、介護保険などを含む特別会計予算は、簡易水道事業を水道事業に統合することなどにより前年度比4・3%減の65億5500万円を可決。

企業会計の水道事業は、簡易水道統合により収益的収入が大幅に増え、6億4000万円余となります。(4、7P参照)

令和元年度一般会計は、ふるさと納税増に伴う発送業務2700万円余、コロナ感染対策として児童クラブや保育園への支援850万円等が増額された一方、年度末までの事業確定による減額で、本定例会前より2600万円余減の125億3100万円余に補正されました。(6P参照)

条例

市の情報公開請求を市民以外にも認め、その手数料を減額する条例、寺島宗則記念館を設置し管理方法を定める条例、働く女性の家を中央公民館鶴見分館とする条例など13件を可決しました。(8・9P参照)

# 市民の声 後押し

## 寺島宗則旧家トイレ建設 請願を採択 ペット予防接種補助 陳情は趣旨採択

請願  
陳情



トイレ整備の請願が採択された寺島宗則旧家（脇本）

請願・陳情

4月にプレオープンする寺島宗則旧家にトイレを早急に整備することを求めた請願が全会一致で採択されました。市は令和2年度には仮設トイレ1基を設置し、設計業務を発注する予定ですが、地元有志、市内外から多くの署名を付した早期建設の請願が出されたもの。高齢者がペットを飼えなくなり、保護施設や動物病院等が保護する犬の狂犬病予防接種、猫のワクチン施術が、低所得のため未実施の場合に備え、市に補助制度の創設を求める陳情は、趣旨採択とされました。

(8・9P参照)

まちづくりビジョン

市の5か年計画となる阿久根市まちづくりビジョンを可決しました。

5年後の人口は、国立社会保障・人口問題研究所による推計1万7301人に対し、目標を1万

7489人（令和2年3月末の人口は2万9人）としました。他に5年後の目標として、市内総生産額を令和元年度から5%増の628億円、移住件数を100世帯等に設定しました。

(10・11P参照)

予算の基礎知識

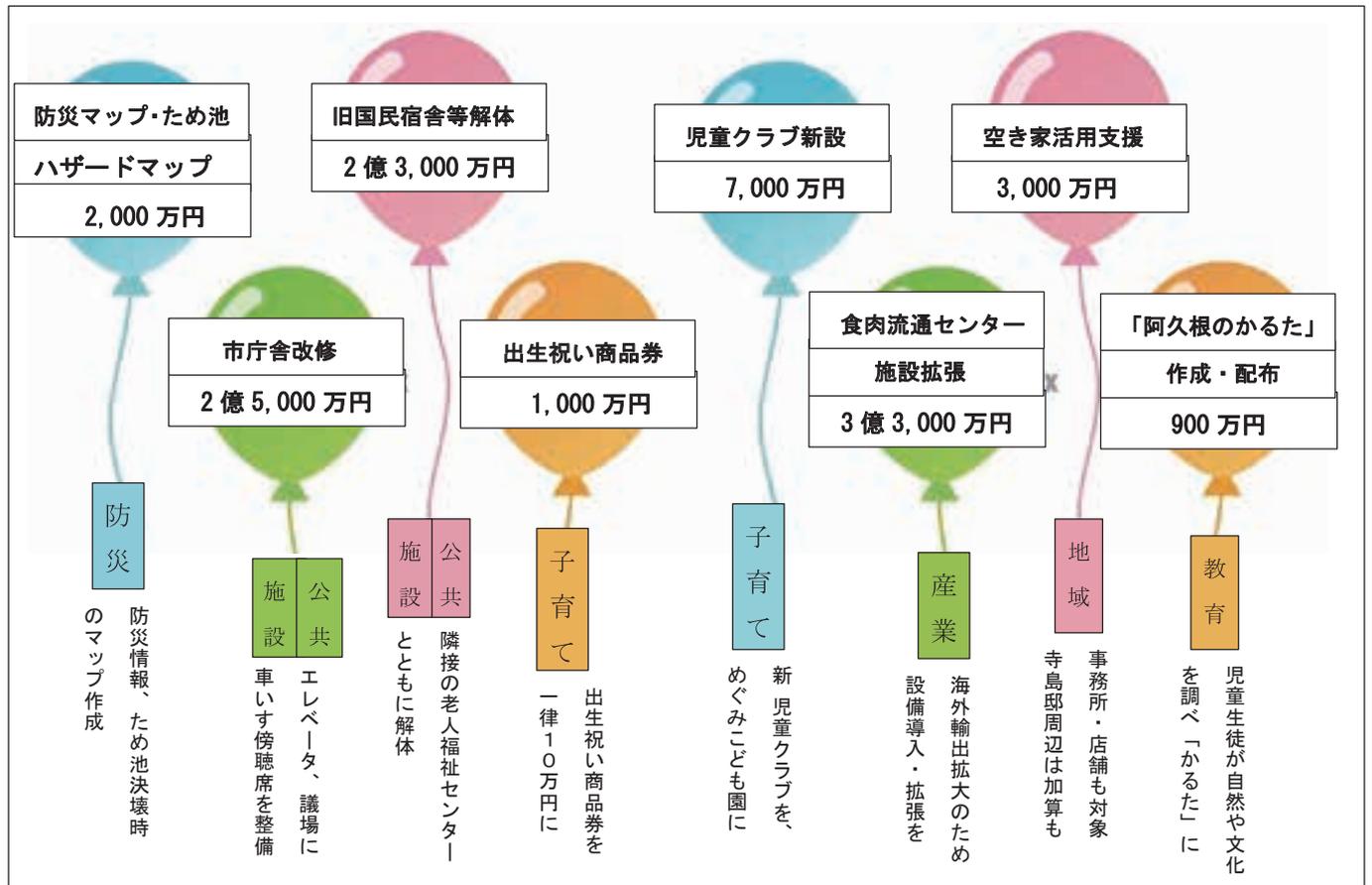
一般会計は、市民サービスの提供、公園・道路・公共施設等の建設、行事開催等、行政の基本的な経費を計上する会計です。特別会計は、法律で設置が義務付けられる、国民健康保険・介護保険等の会計。他に独立採算制で設けられている水道事業会計があります。

それぞれの会計予算で、新年度開始前までに、年間予算として当初に組まれるものを当初予算と呼び、当初予算成立後に生じた事由により、当初予算に変更を加える必要が生じた時に増減を行うものを補正予算と言います。

# 一般会計予算 主な新規・拡充事業は

作業の時間

市庁舎のバリアフリー改修、かつて阿久根の観光をけん引した旧国民宿舎の解体、牛肉輸出拡大のための食肉流通センターの整備支援などハード面への支出の一方、出生祝い商品券の増額、新たな児童クラブの開設、子ども達による「かるた」の作成、寺島邸周辺を重点視した空き家活用などソフト面での支出も多彩に盛り込まれました。



## 総括質疑

行政側から提案された議案について疑問や不明な点を、市長等に質問し説明を求めるもの

### 令和2年度一般会計予算について

白石純一議員

**白石** 旧国民宿舎解体後に提案される施設は。

**市長** 市が目指す方向性の一案として今月(4月)中に示す。(※)

**白石** 市有施設への新電力含む入札検討状況は。

**市長** 令和2年度中に、庁舎の電力につき競争入札実施できるよう準備を進める。

**白石** 出生祝い商品券の一部を中小事業者向けにできないか。コロナ対策にも有効では。

**市長** 子育て世代の使い勝手を考え、これ以上の制約は設けない。

**白石** 華のBBQの市外参加を増やすべきでは。

**市長** 令和元年度の市外売上げ3割以上を目指す。

**白石** 新たな有害鳥獣対策施設の整備必要か。

**市長** 現状の施設が活用できないなか、農水省の補助金も視野に検討する。

**白石** 請願採択された寺島邸トイレの設置方針は。

**市長** 請願採択を重く受け止め、財源確保に努め、早期整備に取り組み。

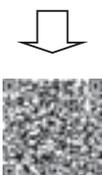
**白石** 出水市も西回り道直結道の駅誘致を表明したが。

**市長** 出水市の考えにコメントないが、当市の新道の駅実現に向け、薩摩川内市、長島町と取り組む。

**白石** コロナ対策に緊急的補正予算を組む考えは。

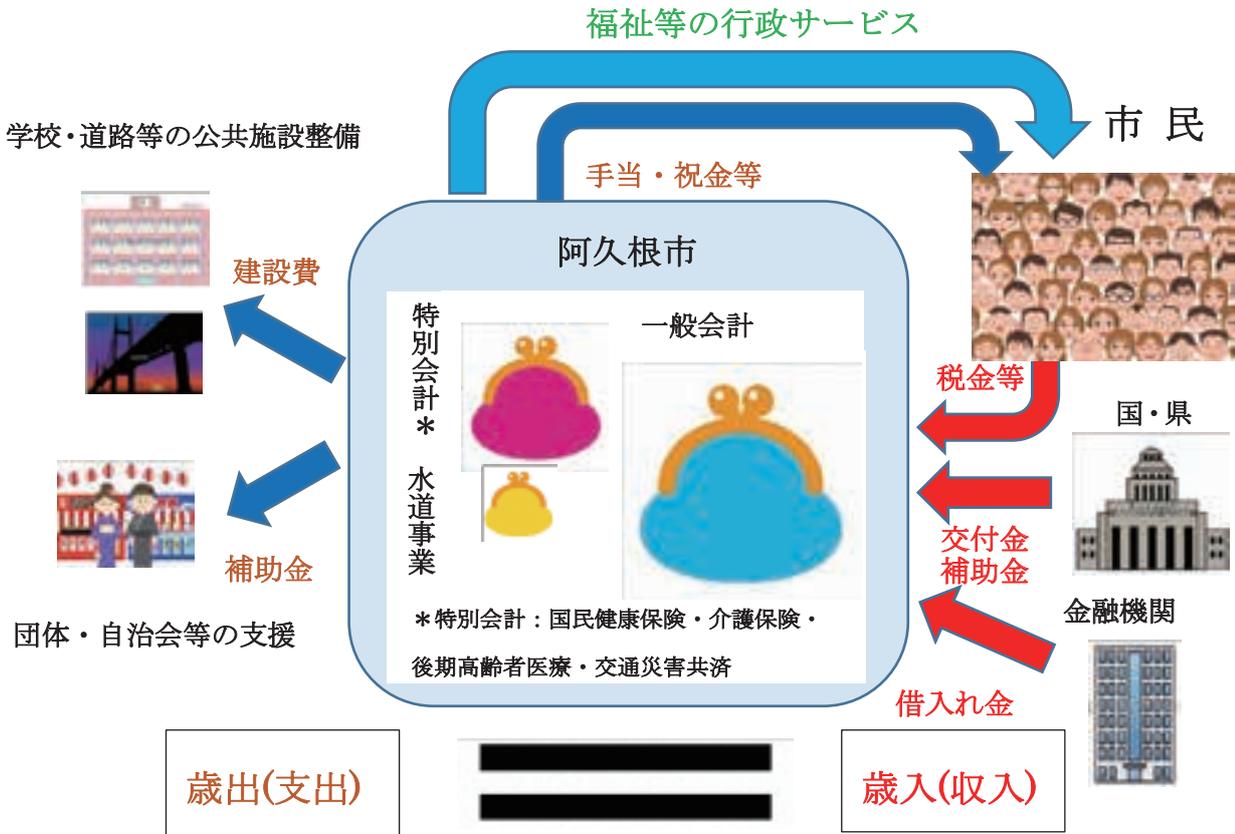
**市長** 必要に応じ、適切な時期に対策を講じる。

※ 下記QRコードから市ホームページの「連携協定に基づく検討・調査の報告について」をご覧ください。



# 市のお財布事情は 人口減少のなか 自前の稼ぎ確保が課題

自治体予算主なお金の流れ



自主財源は26%

市民からの税金（市民税、固定資産税等）に、風テラスや体育館等の公共施設使用料・市役所窓口での手数料などの収入、ふるさと納税等の寄付金、市の貯金である基金の取り崩し等、市が自主的に得られる財源を自主財源と言います。

今年度の一般会計予算で、当市の自主財源は歳入の26%にとどまっており、残りの74%を、国や県からの交付金補助金や、市債（借金）に依存しています（これを依存財源と言います）。国や県の財政状況も今後は緊縮財政が見込まれ、依存財源に多くを頼り続けることにも限界があります。人口は減少する一方、福祉や公共施設の維持等の費用は増えています。阿久根市の持続的成長のためには、人口が減り続ける中でも、子や孫世代が自主的に得られる財源、自前の稼ぎの確保が大きな課題です。

議会は市の財政を注視して参ります。コロナ対策で緊急的出費も見込まれます。

人口は減少

でも出費は増えています



市民の皆さんも、市の財政事情にご理解とご協力をお願いいたします。

# 委員会報告

※委員会と本会議の審査結果は異なる場合があります。

## 予算委員会 濱崎 國治 委員長

令和元年度一般会計補正予算（第4号）、国民健康保険特別会計補正予算（第2号）等、計7件を審査しました。

### 補正予算 全7議案

原案可決  
全会一致

### 主な質疑と答弁

#### 区長とは業務委託

**委員** 区長業務委託料は、令和2年度から方法が変わると聞いた。その内容と支払方法は。  
**課長** 非常勤の特別職から区長個人との業務委託による支払いとなるが、支払方法はこれまでと変わらないようにしたい。

#### 商品券1億円を減額

**委員** プレミアム付商品券の交付金が1億円減額になった。売れなかった原因は何か。  
**課長** 購入費用の工面が難しい、手続きが面倒であるとの声を聞いている。

#### 児童クラブの新設

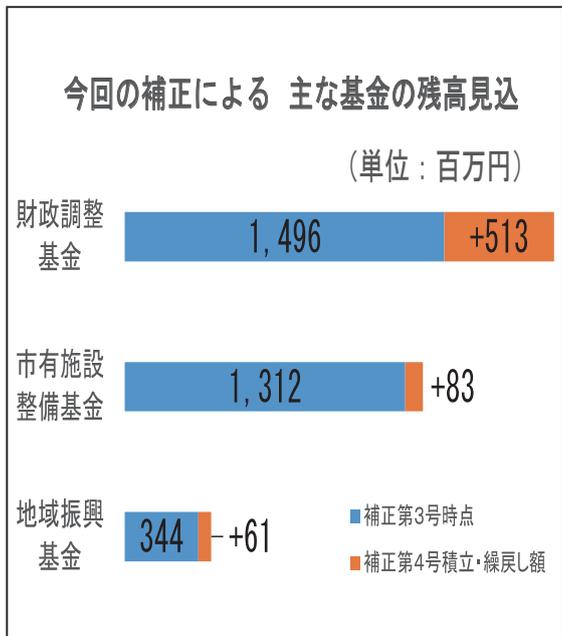
**委員** 利用者が増える理由と新設の場所は。  
**課長** 阿久根小の利用者が多く、定員オーバーを予想している。児童クラブは阿久根中付近に新設したい。

#### 寺島旧家の規模縮小

**委員** 当初、旧家の隣に歴史館やレストラン等の整備予定があったが、規模を縮小するのか。  
**課長** 企業版ふるさと納税により寄附を募集したが、予定の寄附金が集まらず縮小したい。

#### 大川診療所 繰出減額

**委員** 一般会計からの繰入金が減額になった理由は。  
**課長** 前年度からの繰越金が出たため、その分減額になった。



令和2年度一般会計予算及び特別会計予算、計6件を審査しました。

### 一般会計予算 全6議案

原案可決  
賛成多数

### 主な質疑と答弁

#### 旧国民宿舎等の解体

**委員** 旧国民宿舎及び旧老人福祉センターの解体費約2億3千万円が計上してあるが、何月の解体を予定しているか。  
**課長** 解体費が2億円を超えるので、早くて6月議会の議決を得た上で契約する形になり、それ以降の対応になる。

#### 出生祝い商品券

**委員** お店は商品券を商工会議所に換金に行かれると思うが、その換金手数料は幾らで、誰が負担するのか。  
**課長** 換金手数料は2%で、市が負担している。



解体が決まった旧国民宿舎と旧老人福祉センター

#### 訪問給食

#### 日曜日等の配食休止

**委員** 日曜、お盆、年末年始の配食を休止すれば、高齢者で困る方は多いと考える。今年度と次年度の配食数は。  
**課長** 本年度の見込み数は約4万9千食。次年度は予算上約4万2100食を予定している。

#### 福祉タクシー全域運行

**委員** 福祉タクシーの助成事業は、乗合タクシーが運行されていない地域が対象であったが。  
**課長** 今回、全区域に福祉タクシーを広げることでも重なる部分も出てくるが、乗合タクシーは現制度のまま続行する。

## 牛肉の輸出拡大 施設整備に補助

**委員** 農業振興費「強い農業」づくり交付金で3億3千130万円を食肉流通センターに助成しようとしているが、事業の説明を。

**課長** 牛肉の海外輸出拡大を進めるため、施設整備第1期分9億9千390万円の工事を行う流通センターに対し、その3分の1を国からの助成金として市を通じて交付するもの。また、次年度も第2期工事を事業費8億9千820万円で実施する予定である。

**委員** 食肉流通センター及びスターゼンミートグループは、本市産業の核となっているが、その従業員数は。

**課長** グループの従業員数は365名。流通センターへの出向者を含めると379名である。



牛肉の輸出拡大を進める食肉流通センター

## 店舗改修に補助

**委員** 食のまち阿久根活性化事業の予算150万円は新規事業であるが、どのような事業で、対象となる店舗は。

**課長** 市内の企業支援事業の一環として、飲食店の店舗改修等のイメージアップにつながる取組に補助するもので、トイレの改修も該当する。1店舗当たり50万円を限度として、3件を予定している。

## 水産物付加向上対策

**委員** 氷代等を補助していた水産物流通対策事業は、以前の3千円程度から半分程になった。ほかに支援する事業はないのか。

**課長** 氷代の補助は2分の1から4分の1になった。漁協からも増額の要望があるが、魚の付加価値を高める方策として、発泡スチロールでの支援ができないか検討している。

## 通学支援

**委員** 大川中学校の閉校に伴う生徒の通学支援は、路線バスの運賃補助とのことであるが、脇本地区のようにタクシーの活用はできないか。

**課長** 小・中学校のPTAとの意見交換の中で、保護者からの要望もあり、路線バスの補助に決定した。

## 公民館の整備補助

**委員** 自治公民館の整備事業の補助は、昨年は予算不足で補助額を下げた。本年度は170万円で足りるような調査結果だったか。

**課長** 調査は毎年行っている。補助要項では30%以内となっているが、上限での予算措置ができなかった。本年度は上限での予算措置ができた。

## 水道会計事業

**委員** 今年から簡易水道が上水道に統一された。簡易水道の滞納分も上水道分と併せて徴収するの

**課長** 簡易水道の施設は補助事業で整備を進めてきた。上水道の施設は老朽管等が増えており、維持管理のため料金改定も必要となる。

## 国民健康保険会計

**委員** 大川診療所を受診する患者が少ない理由は何か。

**課長** これまでの簡易水道の分も水道会計で徴収する。

**委員** 健全な経営により安心・安全な水を提供するには、水道料金の見直しが必要と考えているのか。



患者数が減少している大川診療所

情報公開条例等の改正

原案可決  
全会一致

主な質疑と答弁

**委員** 開示できない部分や個人情報等は塗りつぶして開示するのか。

**課長** 公開には、全て公開、一部公開、非公開の3つの決定がある。

**委員** コンビニの料金と比べ、白黒は同じだが、カラーB4までは高い。同じ料金にすることはできなかつたのか。

**課長** A3サイズは情報公開のほうが料金が安くなるが、今後、状況を見て検討する。

**委員** コピーのリース契約はサイズごとか、枚数ごとか。

**課長** 枚数ごとの契約である。

奨学金貸付基金条例の改正

原案可決  
全会一致

主な質疑と答弁

**委員** 改正により、国の無償化の対象となつた学生も奨学金を受けられるのか。

**課長** 国の制度だけでなく、他の制度で貸付けによらない減免や援助を受けていた方は、全てこの改正により併用して受けることができる。

**委員** 高校生は含まれないとのことだが、法律が公布されたことで市内の高校生を含めた奨学金の貸付けに関する規定を見直す必要があるか。

**課長** 大学等における就学の支援に関する法律であるが、これを機として、例えば大学の授業料免除、高校の無償化制度があるが、貸付けによらないことであっても、全てこの奨学金の併用を受けられるよう整理する。

公民館条例の一部改正

原案可決  
全会一致



働く女性の家は10月から中央公民館鶴見分館となる

**課長** 働く女性の家はその性格上、利用者が主に女性に限定されているが、男女問わず幅広い年代の市民の方々に利用していただくため公民館施設に転用し、中央公民館鶴見分館とするものである。

※ 本案件に対して、特段の質疑等はありませんでした。

狂犬病予防接種等料金の補助の陳情

原案可決  
全会一致

所管課との質疑

**委員** 予防接種の料金は、1回3400円。

**課長** 他自治体においてこのような補助はあるか。

**委員** 県内の他自治体において補助はない。

**課長** 陳情に対する市の考えは、

**課長** 犬の所有者・管理者は法により予防接種が義務付けられていること

や、犬を飼うことは個人の趣味嗜好によるものであることなどから、補助することは難しいと考える。

参考人との質疑

**委員** 補助金が出るようになった場合は施設へ受け入れる考えか。

**参考人** 完全に整備してから引き受ける。

**委員** 補助金額の希望は、年間幾らで考えているか。

**参考人** 年間4〜5万円足りると思っている。

**委員** これまで低所得を理由に、予防接種代等を払えないという方はいらっしゃるのか。

**参考人** 今現在、そのような方はいない。

**委員** 提出された資料の中に、「当施設や動物病院等に犬や猫を預け」とあるが、動物病院とは話し合いをされたのか。

**参考人** まだ協議はしていない。

討議

**委員** 高齢かつ低所得の方で、今後予防接種やワクチンを打てない方が増えると予想はされるが、実際どれくらいの頭数なのか全く実情が見えていないので採択は難しい。趣旨は理解できるので趣旨採択が望ましい。

**委員** 今後、課題となる問題ではあるが、陳情書は準備不足であり、条件にしても、何で判断するのか曖昧であるため趣旨採択でよい。



その他、  
・市職員の勤務時間、休暇等の改正  
・成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化を図る法整備  
の2議案は、いずれも全会一致で原案可決となりました。

市道路線の認定

原案可決  
全会一致

主な質疑と答弁

**委員** 特に問題はないが、認定後は伐開等に注意を払っていただきたい。  
**課長** 伐開等、管理に努めたい。

出生祝い商品券支給条例の改正

原案可決  
全会一致

主な質疑と答弁

**課長** 4月1日以後に出生した子どもに一律10万円支給するよう、支援を拡充する改正である。  
**委員** 商品券が使える範囲はどの程度か。  
**課長** 平成30年4月1日現在で196店舗が加盟している。

はり・きゅう施術助成に関する条例の改正

原案可決  
全会一致

主な質疑と答弁

**委員** 市外の施術者も対象となるのか。  
**課長** 市内の鍼灸院の育成の観点から、市内の施術院に限っている。  
**委員** 施術所をもって往診しても対象になるのか。  
**課長** そのとおりである。

長寿祝金支給条例の改正

原案可決  
全会一致

主な質疑と答弁

**課長** 将来にわたり本制度の維持を図る観点から、満101歳以上の方への支給を廃止しようとするものである。  
**委員** 100歳以上の方は何人いるのか。  
**課長** 21名である。98歳の方は19名、97歳の方は29名いらっしゃる。

寺島宗則記念館の設置及び管理に関する条例

原案可決  
全会一致

主な質疑と答弁

**委員** 誰に管理させるかについて寺島会でも様々な意見があり、中には不満も出ているが。  
**課長** 公の施設だということを確認するために本条例を設けた。  
**委員** 4月1日から料金は決めるのか。  
**課長** 令和2年度については徴収しない。  
**委員** 今後盛り上げていくためには地元の方の熱意が大事。旧所有者との間にトラブルがあれば熱意も冷めてしまうので、市がしっかりと管理し、意見調整等を行っていただきたい。



老朽化した市営住宅（猿の出住宅）  
※現在は解体済

市営住宅条例の改正

原案可決  
全会一致

主な質疑と答弁

**課長** 今回の改正は、家賃保証会社による機関保証の活用と、老朽化の激しい住宅を解体しようとするものである。  
**委員** 老朽化により別の市営住宅に移る場合、何か助成はあるのか。  
**課長** 基本的には空き家を解体するが、老朽化により転居していただく場合は、引っ越し費用の助成と、家賃の差額について、5年間をかけて段階的に増額していくという助成がある。

寺島宗則旧家のトイレ新設の請願

原案可決  
全会一致

主な意見

**委員** 時間とお金のかからない、できるだけ早くつくれるような設計をしてほしい。  
**委員** 旧家の改修も終わって観光客も増えている。早急に取り組むためにも、この請願を前に進めたい。  
その他、  
・ 道路占用料徴収条例の改正  
・ 都市公園条例の改正  
・ 簡易水道事業の水道事業への統合に伴う関係条例の改正  
の3議案は、いずれも全会一致で原案可決となりました。



100歳を迎えた柏木ハミさん（川畑中）と娘さん

# 地方創生調査特別委員会

岩崎 健一 委員長

まちづくり  
ビジョン



阿久根市まちづくりビジョンは、市総合計画に代わり、本市の基本的なまちづくりの指針・計画となるものであり、地方創生に関する総合戦略を含むものである。

ビジョンは第1編序論、第2編基本構想、第3編基本計画の3編から構成されている。議会の議決すべき事項は第2編の基本構想の部分であるが、第3編の基本計画のうち、主要な施策・事業について説明をいただき審査した。

審査の過程でた、各所管課への主な質疑と答弁は次のとおりである。

## 企画調整課所管

**委員** 将来目標人口について、その計算過程を求め。

**課長** 総合戦略で掲げた将来人口目標に関する自然増減と社会増減の根拠、合計特殊出生率、人口の移動率を、原則維持することを基本的な考えとし、その上で、社人研推計の根拠となるワークシートに基づいて算出した。

**委員** 平成28年度の移住人口が前年の3倍に増えた理由は何か。

**課長** 具体的に増えた理由は分析していないが、この間の移住定住補助・木造建築補助・地域支え合い補助等、各種支援制度の効果が出ているのではないかと思う。

**委員** 空き家バンクについて、目標値15件とあるが、現在のようになく、行政もある程度立ち入ら

ないと、目標の達成は無理だと思うが。

**課長** 現在でも、間取りや周囲の状況など、不動産の方と実際に現地に行って確認している。今後関係の方々との協力しながら空き家改修できるよう進めていきたい。

**委員** 現在、有効活用できる空き家はどれくらいあるのか。

**課長** 平成29年度の実態調査で2894戸の空き家が確認され、活用可能なものが1034戸あった。これまで、平成30年度に1件、令和元年度に3件活用された。

ないと、目標の達成は無理だと思うが。

**課長** 現在でも、間取りや周囲の状況など、不動産の方と実際に現地に行って確認している。今後関係の方々との協力しながら空き家改修できるよう進めていきたい。

**委員** 現在、有効活用できる空き家はどれくらいあるのか。

**課長** 平成29年度の実態調査で2894戸の空き家が確認され、活用可能なものが1034戸あった。これまで、平成30年度に1件、令和元年度に3件活用された。

**委員** 耕作放棄地解消面積について、単年度の目標が1町5反とあるが、これは非常に少ないと思うが。

**課長** 例年実施している平均件数が6件で1町5反ほどであるので、それを維持しようという目標である。

**委員** 農業漁業新規就農者の目標が単年度8人とあるが、農業分野の目標は何人か。

**課長** 単年度目標を5人とし、令和6年度の最終目標は25人である。

## 農政課・農業委員会所管



耕作放棄地

解消前

解消後



## 財政課所管

**委員** 平成30年度までは算出されていなかった将来負担比率が、目標値20%未満と設定されているが、財政が悪化すると捉えてよいのか。

**課長** 現在は、将来負担すべき市債等の将来負担額より基金残高が多いことから将来負担率は算定なしとなっているが、今後は、公共施設の長寿命化等を予定しているので将来負担率が発生してくる可能性があると考えている。

**委員** 旧佐瀧ゴルフ場跡地の権利明確化について、非常に困難かつ利用も不透明な土地であるが、労力や費用をかける価値があるのか。

**課長** 価値があるかどうかは難しいところだが、市名義の土地30・7ヘクタールが点在しており、今後何かしらの活用していくためには必要な手続きだと考える。

## 水産林務課所管

**委員** 水揚げ量が年々減少している中、目標値では上がっている。その理由は。

**課長** 目標値については、北さつま漁協が作成した販売10か年計画に基づいた数値であり、北さつま漁協からの資料が根拠となっている。



## 商工観光課所管

**委員** 入込客数と観光客の消費単価を掛け合わせた消費総額や、延べ宿泊数が評価指標になっていない理由は。

**課長** 指摘のとおり、観光消費を導き出せていないのが現状である。今後取り組まないといけないと考えている。



## 市民環境課所管

**委員** 小型合併処理浄化槽の設置補助はなくなるのか。

**課長** 国の補助は新築については令和2年度までとなっており、県については既に、令和元年度から補助はない。市としては、今後の国・県の動向に注視し検討していく。

## 介護長寿課所管

**委員** 高齢者福祉タクシー利用助成事業と乗り合いタクシー事業は並立されるのか。

**課長** 高齢者タクシーは高齢者の外出支援、乗り合いタクシーは既存のバス路線の補完という異なる趣旨の制度であるということ、高齢者の皆さんに有利な制度となるよう、並立して行う。

## スポーツ推進課所管

**委員** 再生可能エネルギー導入事業について、現在のバイオマスは、将来体育館等への熱供給がされるのか。

**課長** 現在はプールのみの活用であるが、まだ運用していないので、今後運用していく中で応用できるか検討することになる。

## 総務課所管

**委員** 北薩横断道路と西回り自動車道とを直結する選択肢はないのか。

**課長** 北薩横断道路と西回り自動車道は、道路の種類が違うため直結できない。

## 都市建設課所管

## 福祉課所管

**委員** 現在の合計特殊出生率と、目標である5年後に期待される率ほどのようなものか。

**課長** 平成30年度が1.54で、目標値は1.72である。



高齢者タクシーを利用される市民  
自家用車を持たない高齢者にとっては欠かせない交通手段である

**委員** 交通安全の推進の項目の中に高齢者ドライバーの注意喚起とあるが、福祉タクシーの制度を拡充することで免許証返納の広がりにつながっていくとは考えないか。

**課長** より高齢者が安心して移動できる手段については、担当課とも十分協議し、どのような形で体制を構築できるか協議を進めてまいります。

# 討論

議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己意見を表明するもの。  
単に賛否を明らかにするだけでなく、意見の異なる相手を自己の意見に同調させようと努めることにその意義がある。

市まちづくりビジョン

令和2年度一般会計予算

## 反対

現状を把握し  
現実味のある  
計画を  
竹原信一 議員

## 賛成

原因・要因の  
分析強化を  
白石純一 議員

## 反対

不急の出費を  
抑え、市民の  
救済に  
竹原信一 議員

## 賛成

情報開示など  
要望の上し賛  
成  
白石純一 議員

## 賛成

次世代に繋げ  
るため、前進  
させるべき  
濱田洋一 議員

中長期的な見通しに基づき健全な財政運用を目指すとしているが、これまでの大規模投資はもとより、職員数も今回、退職者8名全員の再雇用と、11名の新採用など、人口・財政の見通しとは関係なく行われてきた。

5年後の数値目標を高く掲げることは必要であり支持するが、目標を掲げるに至る過程として、過去や現状の分析、他自治体との比較等、具体的にどのような方策で目標を達成するかの説得力に欠けるのではと感じた。



PDCAサイクルとは

世界の経済成長はマイナスとの予測が出た。世界規模の大不況が始まっている。不景気は深刻化し、市民生活は一層厳しくなる。民間企業は不況の津波を感じ備え始めた。高台にいる公務員は世界の流れに対して、あまりにも鈍感。困窮する市民生活の支えに取り組みべきなのに、グランビュー解体や市庁舎エレベーターなどに何億円もの税金を使ってしまう。不急の出費を抑えて困窮する市民生活に使うよう備えるべきである。のんきで鈍感な役所と市民から怒られ、恵まれ過ぎていると憎まれる前に、ぜひ気付いていただきたい。

- 1、旧国民宿舎活用は、情報の迅速かつ透明性を高めた開示を。
  - 2、高齢者向け弁当は、利用者の声に耳を傾け、必要に応じ日曜日配食の工夫を。
  - 3、出生祝い商品券など、中小店舗も恩恵が受けられるよう検討を。
  - 4、食肉流通センター拡張工事は、輸出が不透明のため、慎重な対応を。
  - 5、華のBBQは、熊本県含む市外に更なる発信を。
  - 6、新たな有害鳥獣解体施設の検討前に、食肉流通センターやスターゼンの力を借りてできることの検討を。
- 「まちづくりは人づくりから」の基本理念に基づき、将来を見据えた効果的な取組に重点を置き、市民福祉の向上を更に進める施策として、安心安全や、福祉・産業・教育・文化・環境において、令和2年度または将来に向けてやるべきことが予算化されている。
- 私も議員は、各種事業の執行状況を確認しながら、常に検証し、よりよい方向に進めることができるよう、執行部と議論を重ねて、ふるさと阿久根を小さくとも輝けるまちとして次の世代に繋いでいくために、本議案を可決し前進させていかなければならない。

令和元年度一般会計補正予算(コロナ対策)

賛 成

情報に対し知的な分析力を

竹原信一 議員

例年、日本のインフルエンザ感染者数、年間1千万人、死者は3千人。年間死者数は、自殺が2万人、交通事故3500人、正月にお餅を詰まらせて死ぬ方が1300人。見方によってはお餅よりもコロナの方が安全かもしれない。この先、コロナウイルスで死ぬ方よりも不況が原因で自殺する方がはるかに多くなる。愚かにも、日本ではマスクやトイレットペーパーの買い溜めが起った。私たちは情報に対する強靭さを持つべきである。何でもかんでも国の言い分を真に受けるといふ態度はやめて、知的な分析力を阿久根市も身に付けるべきではないか。

賛 成

市独自に大型補正緊急に

白石純一 議員

コロナ対策の一環として児童クラブ、保育施設への支援を国の方針に則り行うことは言うまでもなく当然だが、問題は今や児童福祉施設のみならず、待たなしで地域の教育や産業、景気、医療、人々の暮らしに及んでいくと考えられる。つまり、地域に根差した全社会的な措置が必要であり、今回の国主導のこれだけの補正では不足と思われる、市独自の対策としての予算措置も必要と考える。今後追加で児童福祉のみならず商工業、市民の暮らしを支える大型の補正予算を緊急に組まれる必要もあると要望し賛成する。

寺島宗則旧家のトイレ新設の請願書

採択に

賛 成

仮設トイレは文化・観光への姿勢を毀損

白石純一 議員

郷土の偉人、寺島宗則卿が幕末から明治にかけて、薩摩藩及び我が国に与えた功績を市内外に知らしめ、その偉業を称える記念館にトイレが当分の間、仮設しか設けられないことは、当市の文化・観光に対する姿勢を毀損するものである。また、集成館事業や電

信事業など、我が国の文明開化に大きく寄与した人物の記念館に、市内外から名を連ねられた125名が、早急なトイレ建設を求められた意味は重い。寺島宗則旧家にふさわしい常設トイレの1日も早い完成を強く要望し、採択に賛成する。

狂犬病予防接種等料金の陳情書

趣旨採択に

賛 成

ペット問題対策は必要だが・・・

竹之内和満 議員

昨今、特に高齢者のペットの飼育が多くなり、独居高齢者の飼い主が施設や病院に入ったり、ペットより先に亡くなることもある。その場合、保健所へ引き取られるケースが出てきており、対策が必要である。そのような中、本陳情は、高齢者自身のため狂

犬病の予防接種等の補助を求めているが、市におけるペットを飼育している高齢者世帯の現状の把握や、補助制度ができた場合の施設等の受入れ態勢の準備が整っていないと言えない。よって、趣旨は十分に理解できるが、今の段階では採択に至らず、趣旨採択に賛成する。



現在、寺島宗則旧家に設置されている仮設トイレ



# 令和2年第1回定例会 議案・審議・議決結果

議案等番号	内容	議員名（議席番号順）														議決結果	
		竹之内和満	川上洋一	濱門明典	白石純一	濱田洋一	竹原信一	濱崎國治	中面幸人	牟田学	岩崎健二	木下孝行	濱之上大成	山田勝	仮屋園一徳		野畑直
議1	令和元年度一般会計補正予算（第4号）	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決
議2	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議3	令和元年度簡易水道特別会計補正予算（第3号）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議4	令和元年度交通災害共済特別会計補正予算（第1号）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議5	令和元年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議6	令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議7	令和元年度水道事業会計補正予算（第1号）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議8	公平委員会の委員の選任	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	同意
議9	固定資産評価審査委員会の委員の選任	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	同意
議10	まちづくりビジョン	◇	◇	◆	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決	
議11	市道路線の認定	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議12	監査委員条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議13	総合開発審議会条例の廃止	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議14	情報公開条例等の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議15	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議16	非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議17	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための条例の制定	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議18	奨学金貸付基金条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議19	市立学校施設使用条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議20	市公民館条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議21	市国民健康保険基金条例の廃止	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議22	出生祝い商品券支給条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議23	はり、きゅう施術料の助成に関する条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議24	長寿祝金支給条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議25	寺島宗則記念館の設置及び管理に関する条例の制定	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決	
議26	市道路占用料徴収条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議27	市営住宅条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議28	都市公園条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議29	簡易水道事業の水道事業への統合に伴う条例の制定	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議30	令和2年度阿久根市一般会計予算	◇	◇	◆	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決	
議31	令和2年度阿久根市国民健康保険特別会計予算	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議32	令和2年度阿久根市交通災害共済特別会計予算	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議33	令和2年度阿久根市介護保険特別会計予算	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議34	令和2年度阿久根市後期高齢者医療特別会計予算	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議35	令和2年度阿久根市水道事業会計予算	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議36	令和元年度阿久根市一般会計補正予算（第5号）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
請1	寺島宗則旧家のトイレ増設に関する請願書	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	採択
陳1	狂犬病予防接種等料金の補助に関する陳情書	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	趣旨採択

【表の見方】 報：報告 議：議案 決：決議 陳：陳情 意：意見書 \*：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 —：表決権なし  
 ○野畑直議員は議長職のため特別多数議決を除く議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。

# 各議員が市政を問う

## 一般質問

令和2年第1回定例会では、8名の議員が一般質問を行いました。

- 1 白石 純一 議員「宿舍跡HKR」
- 2 濱門 明典 議員「有害鳥獣問題」
- 3 竹原 信一 議員「固定資産税」
- 4 山田 勝 議員「青果市場跡地」
- 5 牟田 学 議員「市民の安心」
- 6 竹之内和満 議員「海を活かす」
- 7 濱崎 國治 議員「コロナ対策」
- 8 中面 幸人 議員「個別ごみ収集」

掲載内容については、それぞれの議員が行った一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者がまとめ、広報広聴委員会が編集したものです。

### 一般質問動画の視聴について

議員写真の左下にある二次元コードをスマートフォン等で読み取ると各議員の一般質問をYouTubeで視聴できます。

視聴の際はデータ通信料が発生する場合がありますので御了承下さい。

応募 ねつ造 出来レースか

臨機応変 総合的 柔軟に

白石 純一 議員

### 宿舍跡HKR

**白石** 応募書類提出しないHKRを応募者に仕立てた、ねつ造ではないか。

**市長** 多くの可能性示す業者として応募頂きたかったからだ。

**白石** 市内業者の応募書類は選定委員に見せず、市長一人で決めHKRとの協定締結を意思表示したのは、独裁ではないか。

**市長** 選定にいたずらに

時間をかけることを危惧した。

**白石** 一連の市の行動は、HKRとの連携ありきの出来レースと考えるとつじつまが合うが、この点政治生命をかけて一切なかったと断言できるか。

**副市長** 市が不適切な手段で片方を優遇したかのような指摘は当たらない。

**市長** 臨機応変、総合的に判断、柔軟に対応した。

**白石** 市長はHKRのプロジェクトを見たか。

**市長** 拝見していない。

**白石** 市長はHKR香港のオーナーとは会ったか。

**市長** 会ったことはない。



HKRとの協定に基づく報告書で示された、市が考える旧国民宿舍跡地の開発イメージ。ただし、HKRは宿泊施設を整備する予定はないという。

原子力防災訓練 乗用車避難は行われなかったが

**白石** 市民殆どが対象になる、自家用車避難の訓練は実施しないのか。

**総務課長** 自家用車避難を訓練した自治体はある。

**文旦の地理的表示(GI)保護制度登録を**

**白石** 文旦のブランド保護向上に国の制度登録を

**市長** 生産農家の意向を伺いたい。

## 答弁内容 虚偽ではないか

事実と異なっていた

濱門 明典 議員



動画視聴



### 有害鳥獣問題

**濱門** 申請書に職員が押印したのは25年度だけに聞いたが、28年度までではないのか。

**課長** 平成25年度分のみと発言したが、事実とは

異なっていた。

**濱門** 昨年9月議会の一般質問で25年度から27年度分の捕獲謝金は返還しないと臨時総会で決したと言われたが、事実無根であった。この虚偽答弁が裁判所に証拠として提出されている。早急に訂正し、公開するべきだ。

**課長** ボイスレコーダーを聞いたところ、捕獲謝金を支払わないという発



虚偽の答弁と、その謝罪があった本会議場

言はなかった。

**濱門** 虚偽答弁の作成者、所管課長、市長の処罰を求める。

※ 本会議最終日、市長から事実と異なる答弁について謝罪があった。

**濱門** 補助金の申請が認められれば後の使い方に行政は関与できないのか。

**市長** 実績報告に基づいてチェックを行い、適切な事業実施が確認できれば補助金を交付している。逆に、目的外であったり虚偽等あった場合は、取消や返還を求めるとして関与する。

**濱門** 解体処理に疑義がある283頭の取り扱い

**市長** いかく阿久根で荷受記録と個体入庫表等に基づき確認した結果、いずれも解体がなされていた。

## 改善の取り組みは

46筆を宅地から変更予定

竹原 信一 議員



動画視聴



### 固定資産税

**竹原** 阿久根市では建物を壊しても5年間は宅地並みの課税をしている。他の自治体では1年間で雑種地に変えているところもある。改善の取組を

問う。

**市長** 令和2年度、地目を宅地から変更する予定は46筆となっている。

**竹原** 建物が無くなったら直ちに宅地以外の評価を与える事ができる。見て回れば一日10件ぐらいできる。できるんだからしなさい。

**税務課長** スピードは上げていかなければならない。一日10件、できない

ことはないという気もする。

### 寺島宗則事業について

**竹原** パンフレットの絵は立派だったが、古い家を修理しただけにしか見えない。幾ら使ったのか。

**市長** 合計で一億900万円、ランドデザイン作成には590万円余り。

### 寄付強要問題について

**竹原** 自治会の寄付強要問題への取組を問う。

**市長** 募金依頼の団体に對し、募金は任意であることを区長へ説明依頼した。区長会総会の他、時機を見て周知に努めてま

### ガードレール裁判

**竹原** 告訴状は出したか。  
**市長** 出してない。



## 健康ランドで集客を

取り巻く状況を見て検討

山田 勝 議員

### 青果市場跡地

**山田** 温泉を利用した、どこにもない健康ランドをつくるってはどうか。

**市長** 近隣自治体の温泉施設の経営状況は厳しく、また、他の民間温泉の経営の圧迫も懸念される。市民の健康、集客に効果があると考えるが、状況を見ながら検討していく。  
**山田** 温泉で利益が上がらなくても、周りで民間



阿久根北インター交差点  
ここから市街地へと誘客する「何か」が欠かせない

の人が食堂や土産物屋をするなどし、街は生き生きとする。

**市長** 温泉施設と限らず、集客力があり、経営者の方が経済活動しやすい環境整備に努めたい。

**山田** 市長は阿久根北インターで下りて市街地に行く観光バスに、どこをアピールするか。

**市長** 個人的には食事をしたあとに、子供を連れて番所丘公園で楽しく過ごせると思う。

**山田** 何かをする場所をつくらなければ人は来ない。青果市場跡地に健康ランドを造れば、長い足

湯の上に屋根を置いて、飯を食ったりビールを飲んだりと名物の場所ができる。そんなロマンを持った気持ちになれないか。

**市長** 多くの方に喜ばれる施設になるとは感じるが、夢を語るだけではなく、財源や運営のフォローなどもしっかり考えなければならぬ。

#### その他の質問

- ・梶折鼻公園入口交差点
- ・高齢者に生きがいを与える事業を など

## 防犯カメラの設置を

慎重に検討していく

牟田 学 議員

### 市民の安心

**牟田** 子供、老人の安心、安全を守るため、主要な道路、通学路に防犯カメラを設置する考えは。

**市長** 犯罪抑止等の効果、プライバシー配慮等の課題もあり、他自治体も参考に慎重に検討する。

#### 市役所のICT化を

**牟田** 業務の効率化、コ



設置が望まれる防犯カメラの一例  
犯人検挙に大きく貢献しており、犯罪の抑止にもなっている

スト削減、災害時の連絡手段、情報共有に優れている、タブレット導入におけるペーパーレス化を進める考えはないか。

**市長** 今後、システムの導入に関し、事務作業の軽減、コスト削減とともに、導入の効果がどの程度図れるか、検討をする。

#### 阿久根駅営業時間再考を

**牟田** 営業時間と乗降客について、学生たちが寒い中、ホームで電車を待っている現状をどのように思うか。

**市長** 高校生に不便をか

けている実情がある。駅の開館時間の見直しを含め、列車利用者の利便性の向上を図っていく。

#### 阿久根市における女性の活躍をどう思うか。

**市長** 男性の理解があって、女性が活躍していく。また、その逆もある。そういう社会がより広くなっていくように、市として取り組む。



動画視聴



動画視聴



## 観光の取り組みは

必要な支援補助を行なう

竹之内 和満 議員



美しい海や島々を持つ阿久根  
オンリーワンのまちづくりのために、どの  
ように生かしていくかが今後の課題



動画視聴



テント開発に支援を行なう。

**竹之内** 海の活用は、現状夏季に限られているが、一年を通して活用できる

観光戦略はあるか。

**市長** 阿久根大島のバンガロー等を通年で利用可能な条例改正を行なうなど周年観光を目指す。

**竹之内** クルーズ船やグラスボートによる海側からの観光は考えているか。

**商工観光課長**

民間で取り組む方がいれば市としては支援していきたい。

**竹之内** 周年観光の視点からも船を利用した観光は必要になってくるので、市も積極的に取り組むべきだ。

風テラスの利用促進を

**竹之内** 若い世代や子育て世代に対する利用促進を図っているか。

**市長** 児童演劇や親子講演会を開催している。今後もファミリー向けのイベント開催を講じたい。

**竹之内** 風テラスあくねに運営委員会がモニタリング制度はあるか。

**生涯学習課長** 現在のところ設置していない。

**竹之内** 今後の問題点、展望を話し合うためにも運営委員会等の設置を検討してほしい。

## 本市の感染予防対策は

市主催のイベントは中止

濱崎 國治 議員



植栽後12年が経過し、松くい虫の被害が  
確認された脇本海岸の松林



動画視聴



や防災行政無線を利用した情報提供や注意喚起を行っていく。また、市主催のイベント等は当分の間、原則中止する。

**濱崎** 小学校の休校に伴い、学童クラブが午前中から開設され朗報である。利用者数によっては感染症拡大が心配である。利用状況は。

**課長** 通常時249名が、休校後は約120名で半

数程度になった。予防対策には万全を期したい。

**植栽松の被害対策**

**濱崎** 脇本海岸の還暦記念で植栽した松に松くい虫等の被害が拡大しており、早急な被害防止対策が必要である。被害防除の対策はできないか。

**市長** 県が実施の被害防除制度の指定を相談している。この結果を踏まえ、どのような対応ができるか検討する。

**并論大会の開催**

**濱崎** 昨年度の大会は中止されたが、本年度は中

**教育長** 一学期の教育活動の中で計画している。小学六年生と中学二年生の全員を参加させ、代表の弁論を聞いてもらう。

**その他の質問**

・田代地区民の避難場所を近くに指定できないか。

## 高齢者等世帯へ取組みを

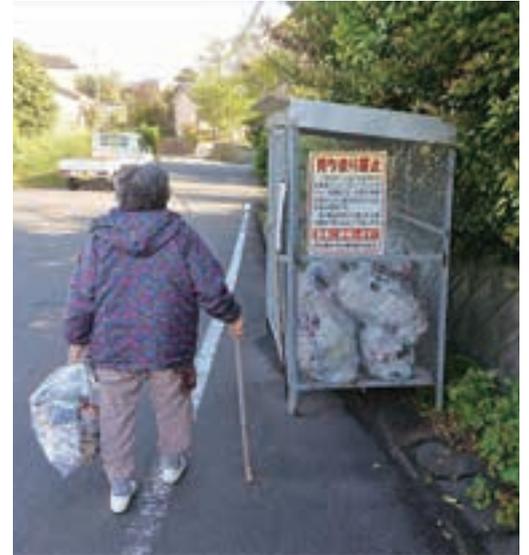
状況にあう取組検討する

中面 幸人 議員

### 個別ごみ収集

**中面** 膝が痛くて歩行の困難な一人暮らしの高齢者等の世帯に対するごみ出し支援について、個別ごみ収集を本市で取り組む考えはないか。

**市長** 個別ごみ収集の実施にあたっては、収集作業の業務量の増加や、収集時間の延長に伴う経費の増大など課題もあり、慎重に検討したい。



膝が痛いのを我慢して  
やっとたどり着いたごみステーション

**中面** 当市は高齢化率が40%を超えた。対象者は限られてくるため、すでに実施している、鹿児島市でも150世帯である。経費の問題より、行政は実態を把握され、ごみ出しに困っている市民に手を貸すべきだ。国も令和

治体が戸別ごみ出し支援を実施している。当市は近隣市町村に比べ前に進まない（と言われる）。この制度を近隣市町村より早く始めて頂きたい。

### 産業祭の出店料高額では

**中面** 売台の設置数に応じた出店手数料が高いと聞か、改善する考えはないか。

**市長** 受益者負担の原則のもと、負担金を実行委員会に諮り決定している。

**市民環境課長** 関係機関と連携、協議し、本市の状況にあったサービスの提供について検討したい。

**中面** 全国では387自



動画視聴



205号に寄せられた、皆さまの貴重なご意見を紹介します。  
206号でも、たくさんの応募・ご意見をお待ちしております。



## クイズ応募者からの声を紹介

市民が希望を持てる議会  
討議・市政を行っていただき  
たい。

(50代 男性)

阿久根高校跡地、早く  
決まればいいです  
ね。散歩中、いつもそ  
んな思いで拝見してい  
ます。

(70代 女性)

昨年4月に阿久根  
に came ました。分からな  
いことばかりでした  
が、市報や議会だより  
を通して、少しずつ阿  
久根について知るこ  
とができています。  
阿久根市の子育て、  
教育がより良いもの  
になりますよう願っ  
ています。

(20代 女性)

議会のことはあま  
り分からないし、議員  
の方々ともほとんど  
接点がないため縁遠  
いが、議会だよりを読  
むと「普段こんな活動  
をしているんだ。今こ  
ういうことについて  
議論しているんだ」と  
かよく分かって為に  
なります。

(40代 男性)

クイズ議会だより。  
ちょっと難しいです  
が、頭の活性化のため  
挑戦しています。次回  
も楽しみに。

(60代 女性)

# の議会にも参加しています 広域議会って何？



北薩広域行政事務  
組合ホームページ

その予算や条例等の審議・議決を、各自治体選出の議員で構成される議会が担っています



建設中のごみ処理施設と完成予想図（右下）

**組合の役割・組織、議会**  
北薩広域行政事務組合は、昭和58年4月、北薩衛生組合、北薩広域行政推進協議会、北薩隔離病舎組合を整理統合して発足しました。ごみ処理、リサイクル（資源化処理）、し尿処理のほか、介護保険認定審査等の業務を行っており、昨年10月からは、障がい支援区

分審査に関する業務も新たに行っています。  
組合の理事長に出水市長、副理事長に阿久根市長、理事に長島町長が就任しています。  
議会は、阿久根市3人、出水市5人、長島町2人の合計10人の議員で構成され、年4回の定例会のほか、必要に応じて臨時会を開催しています。

**新ごみ処理施設建設の進捗状況**

これまで、可燃ごみの処理は、阿久根市の丸内区にある環境センターで行ってききましたが、施設の老朽化が進んでいること等から、現在、新たに一般廃棄物処理施設を出水市野田町の菜切地区に建設中で、令和3年3月の完成を目指し工事が進んでいます。

施設の一部となる最終処分場については、既に完成しており、組合の施設で発生した焼却灰等を埋め立てるもので、敷設された遮水シートや浸出水処理施設の働きにより、焼却灰等を安全・安定的に処理・処分することが可能となっています。



完成した最終処分場

**令和2年度予算と定例会**

円です。

令和2年度の予算は、対前年比7億4278万8千円減の41億9045万9千円で、主な歳出は、ごみ処理等に係る衛生費が39億6402万8千円（うち新焼却処理施設の建設に係る予算は、34億4740万3千円）、介護保険認定審査等に係る民生費が6268万9千円です。  
歳入の主なものは、構成市町村の負担金で、阿久根市の負担金は、7億2892万6千円です。  
この予算の議決に際しては、ごみ減量の取組が不十分のまま大規模な施設整備がなされているなどを指摘した反対討論がありました。賛成多数で可決しました。

（阿久根市選出議員 \*木下孝行・竹原信一・川上洋一） \*議長

構成市町：出水市・阿久根市・長島町

**北薩広域行政事務組合**

# 市議会議員が市議会以外 ? 広域行政組合



阿久根地区消防  
組合ホームページ

複数の自治体が行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置される一部事務組合の形態で

**組合の役割・組織、議会**  
阿久根市、長島町（発  
足当時は旧東町と旧長島  
町）の消防行政を統括し、  
両自治体内の火災・救急  
に対処するため、昭和49  
年に発足しました。組織  
施設は消防本部（阿久根  
市）および東分遣所・長

島分遣所（ともに長島町）  
から成り、計64人の職員  
を擁しています。  
消防議会は、阿久根市  
4人・長島町3人で構成  
され、年2回の定例会と  
不定期の臨時会（平成31  
年・令和元年は4回）を  
開催しています。



交通事故想定訓練  
(令和2年消防出初式での訓練披露から)



**火災・救急の状況と  
令和元年度の事業**  
令和元年（1～12月）  
は、阿久根市18件、長島  
町8件の計26件の火災が  
発生しました。これは最  
近5年で最も多い件数で、  
更に防火意識の啓発に努  
める必要があります。  
令和元年の救急出場は  
2098件で前年比12  
8件の増。今後、救急車  
の需要は更に増加するも  
のと考えています。  
令和元年度には、大規  
模および多様化する災害  
に対応するため水槽付消  
防ポンプ自動車、63  
14万円で購入し消防本  
部に配備、また阿久根市  
が購入した小型動力ポン  
プ付軽四輪積載車を、阿  
久根消防署に配備しまし  
た。



令和元年度に配備された、水槽付消防ポンプ自動  
車と小型動力ポンプ付軽四輪積載車

**令和2年度予算と定例会**  
令和2年度の一般会計  
予算は、対前年度比15  
00万円余増の5億65  
74万円を可決しました。  
歳入のうち、阿久根市負  
担金は3億3265万円  
です。  
対前年度比で主な増額  
分は、消防デジタル無線

設備の修繕等による消防  
本部費782万円、消防  
庁舎の改修等による消防  
署費548万円など。  
審議では、両自治体で  
増加している居住外国人  
に対応するための119  
通訳業務委託負担金等へ  
の質問がありました。

**阿久根地区消防組合**  
構成市町：阿久根市・長島町  
\*議長 ※阿久根市消防  
団長 令和2年3月辞任  
（阿久根市選出議員 \*濱崎國治・中面幸人・白石純一・新留秀雄）

# 語る会

## 人手不足解消を

今回のご意見をしっかり行政に伝え、議会活動に反映して参ります



若手農業者のみを対象とする議員と語る会が初めて開催されました

「議員と語る会」は毎秋、市内12か所で広く市民向けに開催されるほか、個別に団体との語る会も行っています。議員と語りたというご希望の団体がありましたら、お問い合わせください。

農業青年クラブAGR  
IS、JA三笠青年部、  
JA阿久根青年部の会員  
など、農業に従事する若  
手14名に、傍聴の漁業従  
事者1名も議論に加わり、  
議員と語る会を開催しま  
した。以下に発言要旨を  
一部抜粋、ご紹介します。

### 作業人員確保に苦勞

**議員A** いま一番困って  
いるのは。

**農業者A** 人数確保が課  
題だ。特に収穫期。

**農業者B** (国の事業で)  
県が募集する「ふるさと  
ワーキングホリデー」と  
いう制度を利用して、  
給料と住宅を提供し、2  
週間農作業を手伝って  
らっている。

**議員B** シルバー人材も  
活用されているか。

**農業者A** 必ずしも必要  
な人数が来て頂けない。  
**農業者C** 年齢的に力仕

事までさせるのは躊躇す  
る。

**議員C** 外国人の雇用は。  
**農業者A** 農協が雇用し、  
作業委託する形で。期待  
以上に働いて頂けるが、  
まだ少人数で皆さんが利  
用できる状況にない。

**議員A** 漁業者で、冬場  
に農業の収穫を手伝う方  
もいるとのことだが。

**漁業者A** 昨年、漁業で  
人手が足りない夏場に農  
業者の方に手伝いに来て  
頂き、漁の仕事がない冬  
に、その農業者の方の人  
手が足りなくなること  
でこの冬お世話になった。  
お互い手が空いている時  
期に協力し合えたらと思  
う。

**農業者D** 漁業者の方が  
若く、体を使う仕事をし  
ているので助かった。ま  
た、東北で冬に農業がで  
きない農業者に手伝いに  
来てもらったこともある。

# 農業の若き担い手が

# 議員と

市内で農業を担う若手が、議員と活発に議論を繰り広げました。

## 農業移住宣伝・情報発信 空き家登録も進めて

**農業者A** 農業者自体の人口も減っているが、東京で、ある自治体の新規就農制度の広告を見た。阿久根での新規就農の宣伝と、その組織を強化して欲しい。

**議員B** 空き家を絡めた移住定住の情報発信で農業後継者を育てていく工夫も必要。

**議員D** 空き家はあっても、貸してもらえないことがあるようだ。



稲作 刈り取り (10月)

**農業者D** 数十軒の空き家を回ったが、全部貸せない。ちゃんと借りられる空き家を登録する制度の整備を望む。

## 所得につながる農業を

**議員C** 農業の所得には厳しいものがあるが、行政等への要望は。

**農業者E** 豆類を栽培しており行政も支援してくれるが、ジャガイモなどに比べ、生産が減ってきている。立地のいい場所に人を集約できる仕組み作りに入れて欲しい。

**議員E** 価格の安定を守れるかも課題。同じものを作り過ぎても価格が下がる。皆さんのご意見は。

**議員C** 阿久根での産地化・ブランド化も進めるべきと考えるが。

**農業者A** J Aでは鹿児島いずみの名前になるが、価格が上がれば、いずみブランドでも構わない。

**農業者F** 優れた作物であれば、J A鹿児島いずみの横に阿久根産の名も入れられると思う。



ハウスでの絹さや栽培 (12月)



たわわに実った甘夏の果樹園 (12月)

## 青果にとられず加工も

**農業者F** 青果にこだわらず加工品を前提とした栽培形態もあるのでは。

**議員A** 以前は考えられなかった、ぼんたん湯での文旦需要が全国の銭湯にある。売り方次第で。

**農業者G** B級品の流通に苦心している。

**農業者H** A級品と加工用とのすみ分けから始まらないといけない。

※ 新型コロナウイルス対策について、議会は対策会議を設置して取り組みます。詳細は、議会ホームページ等にてお知らせいたします。

# クイズ from 議会だより

議会だよりの内容から出題されるクイズにチャレンジしてみませんか。答えはこの議会だよりの中に。よく読んで答えを見つけてみよう！正解者の中から5名様に商品券（1,000円）が当たります。

- Q1** 阿久根市の予算は、市民サービスや公共施設の建設等の経費を計上する（ A ）会計、国民健康保険・介護保険など法律で義務付けられる（ B ）会計、独立採算制の（ C ）事業会計の3つに大別される。
- Q2** 出生祝い商品券は第（ D ）子から（ E ）万円に引き上げられる。  
※（ D ）・（ E ）には数字が入ります。

～前回（205）の答え～

A：深田 B：陳情 C：問責 D：議員 E：12

## 〈応募内容〉

- クイズ Q1, Q2 の答え
- 議会だよりへの感想か市政へのご意見・ご要望
- 住所・氏名・性別・年齢・電話番号を記入頂き、右記のいずれかの方法で応募下さい。
- 応募締切は6月19日です。（消印有効）  
\*ご感想・ご意見・ご要望は誌面でご紹介させていただきます。

## 〈応募方法〉

- ハガキ：〒899-1696  
阿久根市鶴見町200番地  
阿久根市役所議会事務局宛
- FAX：0996-72-2029
- メール：gikai@city.akune.kagoshima.jp

## 〈応募資格〉

阿久根市民に限ります。

※ 5月中もしくは6月定例会前に臨時会が開催される予定です。

## 6月定例会のお知らせ

- 12日 本会議（提案説明・質疑）
- 17日 本会議（一般質問）
- 18日 本会議（一般質問）
- 19日 委員会
- 22日 委員会
- 26日 本会議（審査報告・表決）

※変更になる場合があります。

## 議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か



傍聴席は市役所4階です

市議会は、市の予算や施策について話し合い、決定する大切な場所です。ぜひ傍聴にお越しください。

来られない方は、市ホームページ内、市議会ページの議会中継、中継録画をご利用ください。

議会議中継への二次元コードはこちら →



中継録画への二次元コードはこちら →



学校の社会科見学やPTA、各種団体等の研修でも傍聴できます。会議録は市役所・三笠支所・大川出張所・図書館で閲覧できます。

## 編集後記

新型コロナウイルスに世界中が震撼しています。この議会だよりが発行される頃には市内に感染者が出ていたのではないかと、拡大する感染、終息の見えない事態に憤りと焦りを感じています。

全国に非常事態宣言が出され、今、国民一人一人の行動が問われています。「不要不急」の判断には難しいものがありますが、確かなことは、自身の行動が自身並びに家族、その他大勢の大切な人を守るということです。皆さんと気持ちを一つにして、この困難を乗り越え、平和な日常を取り戻したいと切に願います。

（委員 川上 洋二）

発行	阿久根市市議会
作成者	広報広聴委員会
委員長	白石 純一
副委員長	濱崎 國治
委員	竹之内 和満
〃	川上 洋一
〃	濱門 明典
〃	岩崎 健二